※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の音楽１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」を軸に「音楽を聴くこと」「楽器を演奏すること」「音楽を作ること」の４分野を年間で勉強し、演奏会に向けて自分たちで企画を行います。
・ただ演奏する、ただ歌うだけではなく、楽曲を深く理解し、練習の際はどのようにすればよりよい音楽になっていくかを考えながら感性を高めて常に演奏してほしいと思います。
・音楽の学習は、仲間と常にさらに良い演奏をめざして真剣に取り組むことで、より音楽の喜び・楽しみや達成感を感じることができます。
・音楽が、生涯みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願い、音楽の幅を広げて楽しむことができるようにしていきたいと考えています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動をとおして、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（ａ）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
（ｂ）自己のイメージや他者とのコミュニケーションの中で生まれたイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（ｃ）主体的・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり・および音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な楽典の基礎や、歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現を創意工夫している。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	・音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 ・自らの課題を発見し、学習の計画、目標を立て、実行し、振り返り・話し合いをするということを繰り返していく姿勢で学習に取り組むことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	斉唱と混声四部合唱の響きの違いを味わおう	【歌唱】 ●校歌 ・斉唱 ・混声四部合唱 ●「Caro mio ben」 ●「大地讃頌」	a: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 振り返りシート
	リズムを楽しもう ～ボディパーカッションを用いて～	【器楽】 ●「クラッピングカルテット」 【創作】 リズムで作曲をしてみよう	a:曲想と手拍子や足踏みの音色、打楽器の音色の関わりについて理解している。また、創意工夫を生かした表現をするための身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に着け、演奏で表している。 b:音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わり、及び他者との協和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協同的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 作品提出 演奏の聴取	演奏の聴取 作品提出 演奏の聴取	観察 ワークシート 振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	鑑賞のファーストステップ　～世界の音楽～	【鑑賞】 ●G.F ヘンデル作曲「ハレルヤコーラス」 等	a: 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 C:楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果や合唱の響きの関わりになどに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
２学期	和楽器の響き　～箏演奏を体験～	【器楽】 ●(箏)「さくらさくら」 ●(篠笛)「ほたるこい」「たこたこあがれ」等	a:箏の基本的な奏法を身につけ、和楽器の響きを感じながら演奏している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら楽曲のイメージを持って、それに合う音を鳴らすよう表現意図をもっている。 c:箏の響きを味わい、奏法を学ぼうと主体的に演奏に取り組むことができる。	観察 演奏の聴取	演奏の聴取 振り返りシート	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	演奏会の企画をしよう～クラス発表の企画・練習、全体合唱の練習～	【歌唱・器楽】 ●ハルモニアステップス ●クラス演奏曲 ・課題曲1曲 ・自由曲1曲 ［歌唱・器楽より選択］ ●大合唱 「大地讃頌」 「IN TERRA PAX」	a:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、発音、呼吸法、演奏法、読譜などの技能を身に付けている。また、楽曲の背景との関わりを理解している。 b:楽曲のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図を持ってパート練習や全体練習に取り組むことができている。 c:クラス演奏曲の選曲に関心を持って取り組もうとしている。イメージをもって歌う学習に主体的に取り組み、よりよい演奏をめざして自らの課題を見つけ、目標を持ちながら練習に取り組んでいる。	演奏の聴取	演奏の聴取 振り返りシート	観察 振り返りシート
	ギター入門	【器楽】 ギター演奏 ●「日曜日よりの使者」	a:ダイヤグラムや奏法を理解し、楽譜やコードに沿って演奏することができている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら楽曲のイメージを持って、それに合う音を出すよう表現意図をもっている。 c. ギターや演奏に関心を持ち、練習に意欲的に取り組んでいる。	観察 演奏の聴取	演奏の聴取 振り返りシート	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	世界の音楽と日本の音楽を聴いてみよう	【鑑賞】 ●「アリラン」 ●「オルティンドー」 ●江差追分 ●ヨーデル ●ホーハイ節 等	a: 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり・および音楽の多様性について理解している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 C:楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果や合唱の響きの関わりになどに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	演奏会の準備をしよう～クラス発表の練習、全体合唱の練習・鑑賞と振り返り	【歌唱・器楽】 ●ハルモニア・ステップス ●クラス演奏曲 ・課題曲1曲 ・自由曲1曲 ［歌唱・器楽より選択］ ●大合唱 「大地讃頌」 「IN TERRA PAX」	a:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付け、それを生かした演奏をすることができている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組み、発表に向けてさらによい演奏をめざして意見を出し合いながら練習に取り組むことができている。また他の学年などの発表をそれぞれのよさや演出の工夫を創造的に味わって鑑賞している。	観察 演奏の聴取	演奏の聴取 振り返りシート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度